

『アイヤッ！とわかる中国語』 正誤表

p.18～21 「中国人の姓(1)《百家姓》の謎」 [誤植ではなく、内容の修正]

p.20 11 行目 [修正前] ⑦松本克説 単姓 408、複姓 78、計 486 姓だと思っただけど…
[修正後] ⑦松本克説 単姓 444、複姓 60、計 504 姓。

p.20 13 行目 整理すると、
①【小学中日】 約 510 姓／
②【愛知大辞典】③【大東大辞典】④【情報辞典】 438 姓／
⑤《学生字源》 100 余姓／
⑥《开心辞典》 468 姓／
⑦松本克説 [修正前]486 姓 [修正後]504 姓 となります。

p.21 1行目 [修正前] ⑥と⑦が、同じ3つの数字から出来上がっている二種類の答となっている。と言うことは、この3つの数字の組み合わせがとにかく正解か？というような推理ゲームです。
[修正後] [全文削除]

p.21 4行目 [修正前] 私としては、実際に数えてみた結果としての「486 姓」説ではありますが、そんなに意見が分かれるはずの無い問題だと思うので、何かとんでもない見落としが有ることのみを恐れています。

[修正後] 本書は、前述の通り、識字用テキストとして暗唱し易いよう四字一句の文体で統一されていて、文字数は 4 字x141 句=564 字です。

また、三文字以上の複姓は含まれていないので、単姓=1 字、複姓=2 字で計算ができます。つまり、全部単姓の場合に最多で 564 姓となり、全部複姓の場合、最少の 282 姓、単姓と複姓の混合なら、その間の数字ということになります。

ですから、「⑤《学生字源》100 余姓説」だけはどうしても助かりません…

北宋時代に編纂されたとされる本書、最も早い時期の版本がどうだったかは不明ですが、その後も随時編纂が続けられ、明代の版が 438 姓、そして清代後期の版が 504 姓、を収録していたとされ、過去の版の数だけ諸説も有り得るということがわかりました。

p.24 下枠内「面白単語帳⑤」

“正”の発音は「正しい。正す。正に、あたかも。」という意味の時は、声調が四声 [zhèng] ですが、「正月」の時は一声 [zhēng]、「(金額が)ちょうど、かつきり」の時は三声 [zhěng] に変わります。皆さんも御注意下さい。

★“正月初一” [誤] [zhèng yuè chū yī] [正] [zhēng yuè chū yī]

☆“正月除一” [誤] [zhèng yuè chú yī] [正] [zhēng yuè chú yī]

p.69～71 「中国の1都1道2府 43 県」

p.69 11 行目 4) 2 特別行政区 : 香港、[誤] アモイ。
4) 2 特別行政区 : 香港、[正] マカオ(澳門)。